



南スーダン共和国 (The Republic of South Sudan)



- 南スーダンへの援助総額は2014年までに累計224.22億円。
- 国造りを支援し、平和の定着を支えるべく、二国間援助、国際機関やNGOを通じた支援等、積極的な支援を行っている。
- 国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)に派遣されている日本自衛隊施設部隊の活動とも連携を図り、相乗的な効果を得られるよう支援を進めている。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 64万平方キロメートル(日本の約1.7倍)
- ・人口: 1,234万人(2015年, 世銀)
- ・首都: ジュバ(首都人口約300万人)
- ・民族: デインカ族, ヌエル族, シルク族を筆頭に数十の部族がいるとされる。
- ・言語: 英語(公用語), その他部族語多数
- ・宗教: キリスト教, 伝統宗教
- ・政体: 共和制
- ・暫定国民議会: 二院制(暫定国民立法議会, 全州評議会)
- ・GDP: 90億ドル(2015年, 世銀)
- ・GNI: 一人あたり 790ドル(2015年, 世銀)
- ・経済成長率: -6.3%(2015年, 世銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1899年	英国とエジプトによる北部及び南部スーダンの共同統治
1955年	第一次スーダン内戦勃発
1956年	南部を含むスーダンが英国から独立
1983年	第二次スーダン内戦勃発
2005年	南北包括和平合意(CPA)署名
2011年	南部スーダン独立住民投票
2011年	南スーダン共和国独立
2013年	大統領警護隊同士が衝突し、政治、治安情勢が悪化
2015年	南スーダンにおける衝突の解決に関する合意文書署名
2016年	国民統一暫定政府設立

援助実績

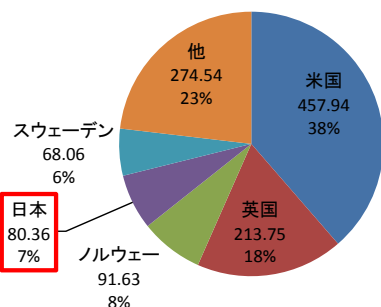
スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	204.80億円 (2014年度末時点)
技術協力	69.92億円 (2014年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本から南スーダンへの輸出	15億円 (2015年, 財務省統計)
在南スーダン日系企業数	4社 (2015年10月時点, 外務省統計)

南スーダンの主要ODA供与国 (2011年～2014年累積, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



人的つながり

項目	人数(直近年)
南スーダンにおける在留邦人数	410人 (2015年10月現在, 外務省統計)
在日南スーダン人数	11人 (2015年10月現在, 法務省統計)
南スーダンから日本への留学生数	1名 (2014年, (独)JASSO調査)

日本と南スーダン共和国との協力年表

年代	案件
2011年7月	南スーダンの独立と同日付けで、同国を国家承認するとともに、外交関係を開設
2011年11月	UNMISSへ司令部要員を派遣
2012年1月	UNMISSへ自衛隊施設部隊を派遣
2012年	無償資金協力「ジュバ河川港拡充計画」交換公文締結 無償資金協力「ナイル架橋建設計画」交換公文締結
2013年	左藤防衛大臣政務官(当時), 小野寺防衛大臣(当時)がジュバを訪問
2013年7月	在南スーダン日本国大使館を開設
2013年6月	第5回アフリカ開発会議(TICADV)に出席するためキール大統領が訪日
2014年	「南スーダン緊急支援2014」プログラムとして、2014年2月から現在までの累計で、総額約13億円を供与
2015年1月	中谷防衛大臣がジュバを訪問し、自衛隊派遣部隊を視察、マニヤン国防大臣等と会談
2015年3月	国連防災会議出席(共同議長)のため、イッガ副大統領が来日
2015年3月	国連専門機関等と連携した支援として、人道支援分野等に8,000万米ドルの拠出を決定



首都ジュバ市のナイル川河岸に設置された港の拡充整備として、岸壁整備、貨物操作場拡張、荷下ろし設備整備等を行うもの。



ナイル川を渡河する既存橋(老朽化などにより耐久性に問題がある)の掛け替えをおこなうもの。



活動する日本のNGOは6団体(当時)



南スーダンにおいて国連機関等で働く邦人職員数は20名(当時)